

患側腎動脈クランプ下のロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術において、 対側腎の過剰濾過が同側腎の実質的な機能低下をマスクする — 10年間の分腎シンチグラフィー解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術では、手術中にがんがある側の腎臓の血流を一時的に止めることがあります。術後の腎機能は eGFR で評価されることが多いですが、これは左右の腎臓を合わせた働きを示すため、反対側の腎臓が補うことで、手術した側の機能低下が分かりにくくなる場合があります。そこで本研究では、分腎シンチグラフィーという検査を用いて左右それぞれの腎機能を評価し、手術した側の変化を詳しく調べます。2016～2026 年に当院で手術を受けた方の診療・検査データをもとに解析します。

研究の対象となる方

2016 年 4 月から 2026 年 5 月までに当院でロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、手術日、腫瘍径、RENAL スコア、患側、術式情報、クランプ方法、温阻血時間、術前後の血清クレアチニン値、eGFR、術後 1 年時点の eGFR、合併症、診療経過、術前および術後の患側・対側分腎機能、検査実施日など

使用開始予定日：2026 年 6 月 3 日

研究予定期間

2026 年 6 月 3 日～2027 年 6 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

[研究の情報管理責任者] 泌尿器科 元島 崇信

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾 浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 元島 崇信

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）